

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング

コード番号 7169 URL <http://www.newton-fc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山岸 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 山縣 正則

TEL 03-6233-0352

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,503	—	1,304	—	1,329	—	768	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 768百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	120.64	—
26年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は平成27年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	25,081	8,783	32.5	1,280.85
26年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 8,157百万円 26年3月期 1百万円

(注) 当社は平成27年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	—	2,700	—	2,701	—	1,566	—	245.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成27年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ウェブクルー、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	6,369,000 株	26年3月期	6,369,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	24 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	6,368,999 株	26年3月期3Q	6,369,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）における我が国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和政策により、企業収益や雇用情勢の緩やかな回復の兆しが見られました。しかしながら、消費税増税後の個人消費の回復は依然停滞しており、経済成長の停滞が予想されるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は、派遣先企業の新規開拓、既存派遣先との取引拡充、新卒・中途社員の採用を積極的に行う事により営業人員を増員し、入社後の教育・研修を行うことによる募集品質の向上と、生産性の向上に努めてまいりました。

また、平成26年11月12日に、株式会社ウェブクルーを連結子会社とすることを目的とした株式公開買付けを公表いたしました。株式会社ウェブクルーの比較サイトビジネス、店舗による保険の販売網を取得し、当社代理店事業のコールセンターによる販売網と連携させることにより、顧客ニーズ及び市場環境に対応できる体制を構築してまいります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が8,503,911千円、営業利益が1,304,094千円、経常利益が1,329,160千円、四半期純利益が768,324千円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<代理店事業>

代理店事業におきましては、新規顧客及び既契約顧客に対して電話による保険募集活動を行っております。保険募集時における体制整備の強化等が計画通り完了し、大量採用により増加した営業人員の教育を行うことによる生産性の向上に注力いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の代理店事業の売上高は4,611,735千円、営業利益は1,276,718千円となりました。

<派遣事業>

派遣事業におきましては、派遣先企業へ保険募集活動を行う従業員を派遣しております。前事業年度に引き続き、独自の顧客リストを豊富に保持している企業の新規開拓や、既存派遣先企業との取引拡充に注力いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の派遣事業の売上高は3,892,176千円、営業利益は648,003千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は25,081,765千円となりました。

流動資産の残高は8,311,284千円となりました。主な内訳は、現金及び預金4,560,996千円、受取手形及び売掛金2,866,603千円であります。また、固定資産の残高は16,770,480千円となりました。内訳は、有形固定資産1,125,696千円、無形固定資産10,876,600千円、投資その他の資産4,768,183千円であります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は16,297,775千円となりました。

流動負債の残高は13,610,353千円となりました。主な内訳は、未払金2,245,307千円、短期借入金9,780,950千円であります。また、固定負債の残高は2,687,422千円となりました。主な内訳は社債1,576,000千円であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,783,989千円となりました。主な内訳は、資本金2,237,667千円、資本剰余金2,137,341千円、利益剰余金3,782,798千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年6月16日に公表いたしました平成27年3月期の通期業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、平成27年2月12日付の当社「連結決算への移行に伴う通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従いまして、これらの業績見通し等に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第 3 四半期連結会計期間において、株式会社ウェブクルーの株式を取得したため、株式会社ウェブクルー及びその子会社 9 社を連結の範囲に含めております。

なお、これらを連結するにあたっては、みなし取得日を当第 3 四半連結会計期間末としているため、当第 3 四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,560,996
受取手形及び売掛金	2,866,603
その他	886,808
貸倒引当金	△3,124
流動資産合計	8,311,284
固定資産	
有形固定資産	1,125,696
無形固定資産	
のれん	10,738,441
その他	138,158
無形固定資産合計	10,876,600
投資その他の資産	
投資有価証券	3,113,452
その他	2,198,551
貸倒引当金	△543,819
投資その他の資産合計	4,768,183
固定資産合計	16,770,480
資産合計	25,081,765
負債の部	
流動負債	
未払金	2,245,307
短期借入金	9,780,950
未払法人税等	216,070
役員賞与引当金	22,500
賞与引当金	272,066
解約調整引当金	155,494
その他	917,964
流動負債合計	13,610,353
固定負債	
社債	1,576,000
長期借入金	473,151
役員退職慰労引当金	80,953
退職給付に係る負債	197,470
その他	359,847
固定負債合計	2,687,422
負債合計	16,297,775
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,237,667
資本剰余金	2,137,341
利益剰余金	3,782,798
自己株式	△82
株主資本合計	8,157,724
新株予約権	26,895
少数株主持分	599,368
純資産合計	8,783,989
負債純資産合計	25,081,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	8,503,911
売上原価	5,557,311
売上総利益	2,946,599
販売費及び一般管理費	1,642,504
営業利益	1,304,094
営業外収益	
助成金収入	36,759
持分法による投資利益	24,941
その他	1,850
営業外収益合計	63,551
営業外費用	
支払手数料	30,000
その他	8,484
営業外費用合計	38,484
経常利益	1,329,160
特別損失	
固定資産除売却損	793
特別損失合計	793
税金等調整前四半期純利益	1,328,367
法人税、住民税及び事業税	504,106
法人税等調整額	55,937
法人税等合計	560,043
少数株主損益調整前四半期純利益	768,324
四半期純利益	768,324

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	768,324
四半期包括利益	768,324
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	768,324
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	代理店事業	派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,611,735	3,892,176	8,503,911	—	8,503,911
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,611,735	3,892,176	8,503,911	—	8,503,911
セグメント利益	1,276,718	648,003	1,924,721	△620,627	1,304,094

(注) 1. セグメント利益の調整額△620,627千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ウェブクルーの株式(発行済株式数の90.87%)を取得し、同社及びその子会社である株式会社保険見直し本舗他8社を連結の範囲に含めたことにより、のれんが10,353,393千円発生しております。ただし、当該のれんの帰属する報告セグメントについては現在検討中であります。